

都城工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	国語
科目基礎情報				
科目番号	0008	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	物質工学科	対象学年	1	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材	『高等学校改訂版 標準国語総合』（第一学習社） ISBN:978-4-8040-0872-1、新版六訂『新訂総合国語便覧』（第一学習社） ISBN:978-4-8040-3301-3、『新版 チャレンジ常用漢字』（第一学習社） ISBN:978-4-8040-3386-0			
担当教員	関 幹雄			
到達目標				
1. 現代文：近代以降の様々な文章に親しみ、要旨や筆者の主張を把握するための基礎力を身につける。 2. 古典：伝統的な言語文化への興味・関心を広く持つための、古典読解の基礎力を身につける。 3. 表現：基礎的な語彙力（常用漢字・慣用句）を身につける。自分の考えを文章にまとめる基礎力を養う。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安 A	標準的な到達レベルの目安 B	未到達レベルの目安 C	（学生記入欄） 到達したレベルに○をすること。
評価項目1	論理の展開・心情や状況の描写を十分に理解し、要旨を把握することができる。	読解に必要な知識・語彙力を備え、文意を理解することができる。	読解ための知識・語彙力の必要性を自覚することができる。文意を少しは把握することができる。	A ・ B ・ C
評価項目2	古典に学ぶための基本事項を理解し、伝統的な言語文化への興味・関心を持つことができる。	古典に学ぶための基本事項を理解し、古典に親しむ素地を作ることができる。	古典に学ぶための基本事項を少しは理解し、古典に親しむ努力をすることができる。	A ・ B ・ C
評価項目3	基礎的な語彙力を十分身につけ、自分の考えを的確に文章にまとめることができる。	基礎的な語彙力を身につけ、自分の考えを文章にまとめることができる。	基礎的な語彙力を少しは身につけ、自分の考えを文章にまとめる努力をすることができる。	A ・ B ・ C
学科の到達目標項目との関係				
学習・教育到達度目標 3-1 学習・教育到達度目標 3-3				
教育方法等				
概要	第1学年では、高校の基礎的な教材を扱う。他科目における活動（文章表現・口頭発表・思考や発想）に繋げるための基礎的な国語力向上への「導入」を行う。現代文に比重を置きつつ古文・漢文にも親しみ語彙力と感性を養成する。			
授業の進め方・方法	現代文・古典教材の読解力を養う。教材に関連した課題において自身の考えを文章で表現する力を育む。併せて漢字小テストを定期的実施し、語彙力を養成する。小レポート等の課題によって思考を整理し深化を促す。			
注意点	1.本文を事前に読んで授業に臨む習慣をつけること。 2.辞書・国語便覧を持参して授業に臨むこと 3.板書をきちんとノートにとり、試験時の復習などに役立てること。 4.提出課題においては分かりやすい文章の作成に努め確実に提出すること。口頭発表の機会があれば積極的に取り組むこと。 5.単元に関連する情報の収集など、自分でできることには進んで取り組むこと。			
ポートフォリオ				

(学生記入欄)

【理解の度合】理解の度合について記入してください。
(記入例) フアラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。
・前期中間試験まで：

・前期末試験まで　：

・後期中間試験まで：

・学年末試験まで　：

【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。
(記入例) フアラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。
・前期中間試験　点数：　　　　　総評：

・前期末試験　　点数：　　　　　総評：

・後期中間試験　点数：　　　　　総評：

・学年末試験　　点数：　　　　　総評：

【総合到達度】「到達目標」どおりに達成することができたかどうか、記入してください。
・総合評価の点数：　　　　　総評：

(教員記入欄)

【授業計画の説明】実施状況を記入してください。

【授業の実施状況】実施状況を記入してください。
・前期中間試験まで：

・前期末試験まで　：

・後期中間試験まで：

・学年末試験まで　：

【評価の実施状況】総合評価を出した後に記入してください。

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業
-------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---

授業計画				
		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	授業計画の説明 随想:「立ってくる春」	授業計画・達成目標・成績評価方法を把握する。表現の特徴に注意して主張を的確に捉える。(1)
		2週	随想:「立ってくる春」	表現の特徴に注意して主張を的確に捉える。(2)
		3週	随想:「立ってくる春」	表現の特徴に注意して主張を的確に捉える。(3)
		4週	ズームアップ「現代文入門」 表現:「原稿用紙の使い方」	原稿用紙の正しい使い方を理解する。
		5週	古典:「漢文の海へ」「訓読のきまり」「格言」	漢文読解のための基礎知識を習得する。(1)
		6週	古典:「格言」「訓読の基本」『孟子』	漢文読解のための基礎知識を習得する。(2) 社会生活で使われている故事成語の意味や内容を説明できる。(1)
		7週	古典:『孟子』より「助長」	社会生活で使われている故事成語の意味や内容を説明できる。(2)
		8週	古典:『孟子』より「助長」 試験内容の確認	試験に向けて学習内容を振り返る。
	2ndQ	9週	前期中間試験	
		10週	試験問題の返却・解説及びポートフォリオの記入 評論:「水の東西」ズームアップ「評論の読み方」「評論を読むヒント」	漢字や語句の意味を把握する。表現の特徴に注意して主張を的確に捉える。(1)
		11週	評論:「水の東西」	漢字や語句の意味を把握する。表現の特徴に注意して主張を的確に捉える。(2)
		12週	評論:「水の東西」	漢字や語句の意味を把握する。表現の特徴に注意して主張を的確に捉える。(3)
		13週	評論:「水の東西」	評論の構成を把握し、自分の文章に活かす。多様な視点について理解し考察する。
		14週	表現:「スピーチ」「ブックトーク」「手紙」	相手に分かりやすく紹介する文章について考察する。 実用的な文章作成の方法について理解する。
		15週	表現:「スピーチ」「ブックトーク」「手紙」 試験内容の確認	自分の文章を自己評価する。 試験に向けて学習内容を振り返る。
		16週	前期末試験 (17週目は試験答案の返却・解説及びポートフォリオの記入)	
後期	3rdQ	1週	小説:「清兵衛と瓢箪」ズームアップ「小説の読みかた」「志賀直哉」	漢字や語句の意味を把握する。表現の特徴に注意して主張を的確に捉える。(1)

		2週	小説：「清兵衛と瓢箪」	漢字や語句の意味を把握する。表現の特徴に注意して主張を的確に捉える。（2）
		3週	小説：「清兵衛と瓢箪」	漢字や語句の意味を把握する。表現の特徴に注意して主張を的確に捉える。（3）
		4週	小説：「清兵衛と瓢箪」	多角的な視点から小説の読解を試みる。
		5週	古典：「古文チェックポイント1～5」 「万葉集」「古今和歌集」	古文読解のための基礎知識を習得する。和歌文学を通して伝統的な言語文化への考察を深める。（1）
		6週	古典：「古文チェックポイント1～5」 「万葉集」「古今和歌集」	古文読解のための基礎知識を習得する。和歌文学を通して伝統的な言語文化への考察を深める。（2）
		7週	古典：「古文チェックポイント1～5」 「万葉集」「古今和歌集」 試験内容の確認	古文読解のための基礎知識を習得する。和歌文学を通して伝統的な言語文化への考察を深める。（3） 試験に向けて学習内容を振り返る。
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	試験問題の返却・解説及びポートフォリオの記入 古典：「古文チェックポイント1～5」 『竹取物語』『伊勢物語』	古文読解のための基礎知識を習得する。物語文学の成立についての理解を深める。
		10週	古典：『竹取物語』『伊勢物語』 評論：「コインは円形か」	漢字や語句の意味を把握する。表現の特徴に注意して主張を的確に捉える。（1）
		11週	評論：「コインは円形か」	漢字や語句の意味を把握する。表現の特徴に注意して主張を的確に捉える。（2）
		12週	評論：「コインは円形か」	漢字や語句の意味を把握する。表現の特徴に注意して主張を的確に捉える。（3）
		13週	評論：「コインは円形か」	漢字や語句の意味を把握する。表現の特徴に注意して主張を的確に捉える。（4）
		14週	評論：「コインは円形か」 古典：「絶句と律詩」	漢詩の形式について理解する。（1）
		15週	古典：「絶句と律詩」 試験内容の確認	漢詩の形式について理解する。（2） 試験に向けて学習内容を振り返る。
		16週	学年末試験 (17週目は試験答案の返却・解説及びポートフォリオの記入)	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	1	後11,後12,後13,後14
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	1	後11,後12,後13,後14
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	1	前1,前2,前3,前4
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後11,後12,後13,後14,後15
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	1	前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後11,後12,後13,後14
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後11,後12,後13,後14,後15

				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後11,後12,後13,後14
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	1	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	1	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	1	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	1	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	1	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	1	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	1	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	1	

評価割合							
	定期試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	10	60
専門的能力	30	0	0	0	0	10	40
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0